

ののうち誠

vol. 6



ホームページを開設しています。ブログもやっています。お気軽にケイタイからご覧いただけます

議会報告・ののうち誠後援会だより

E-mail: nonouchi@mable.ne.jp
HP: http://www.mable.ne.jp/~nonouchi

発行日: 2013.1.20



平成25年の 新春に思うこと

新しい年を迎え、皆様方には益々お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、新しい政権下で平成25年が始まりました。景気が回復し経済が立ち直り雇用も増えるような政策を、展開してもらいたいものです。

転じて松江市の課題、まずは安心安全の確保です。島根県は昨年11月に「原子力災害に備えた島根県広域避難計画」を公表し、松江市を始めとする県内4市は各々広域避難計画を策定することになっています。避難ルートの整備も急がれます。もちろん万一の場合への備えであって、絶対に原子力災害が起きない対策が求められます。次に、経済の活性化による雇用

の増加対策です。定住の要は雇用の場があつてこそで、雇用の場があれば人は集まり、住宅地は必然的に生まれてくるものです。中海圏域は山陰にあつて製造業などの産業が集中しています。そこが活性化し山陰全域に効果が波及していく、つまり、日本の産業は関東から京阪神にかけての工業ベルト地帯から全国に波及していったことに似ています。松江市では、ものづくりアクシヨンプランを策定していますが、政府の経済の建て直しと絡めば、雇用増加の実現、ひいては税収の増加は可能であると考えます。

次に、市民の皆さんがさらに住む幸せを感じていただく施策としての、福祉の増進、教育や子育て環境の整備です。普段の生活が豊かなら、間違いなく行政運営はうまく進んでいるといえます。

今年の春、野々内は、2度目の市議会議員選挙に挑戦します。新しい松江市のまちづくりのために、松江市を変える力として力強く進んでいきます。あなたも一緒に歩いていきましょう。

松江市議会議員選挙の日程です
告示日：4月14日(日)
投票日：4月21日(日)

12月市議会

12月市議会は12月5日から21日までの会期で開催。「松江市農山漁村地域活性化基本条例」の制定や、大手前駐車場の機械化管理に伴う料金の改定、東出雲町の区域を松江市景観計画区域に追加する条例改正などを議決しました。平成24年度補正予算では災害時に援護が必要な人の避難を迅速に進めるための地図システム導入や介護保険、私立保育所への給付費の追加などで、一般会計補正予算案13億7900万円など70議案を原案通り可決しました。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

一般質問を 行いました



野々内は松江市や東出雲地域の発展と市民の皆様の幸せを願い、連続5度目の一般質問を12月議会で行いました。(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)

Q1、松江市策定中期財政 見通しについて

(1) 実質公債費比率はどの程度が適当と考えているのか、普通建設事業費の内容及び規模に関する考え方を問う。

10月発表の中期財政見通しは、繰り上げ償還を積極的に行い、普通建設事業費を20%程度圧縮し、実質公債費比率(18%以上時借金は県知事許可)は、平成24年度で18.5%が、28年度で15.7%に改善をするとあります。

しかし、普通建設事業は、地域経済に大きな影響を持っており、健全な財政指標を目指しつつも、一定の公共事業投資が必要と考えます。バランスをとった財政運営が大事ですが、実質公債費比率はどの程度が適当と考えているのか、また普通建設事業費の内容及び規模に関して考え方をお聞かせください。

(A) 星野財政部長：平成27年度から地方交付税が段階的に縮減されても行政サービスや一定水準の投資が行えるよう、備えが必要で。従って、バランスのとれた財政が行えるよう、平成28年度段階で15.7%の目標を達成していきたいと考えています。

普通建設事業費は各年度約100億円としており、港湾や道路、農道等の整備、学校の耐震化や幼保園の整備、新体育館の建設などを行っていく考えです。

(2) 平成25年度の予算における東出雲地域への施策の考え方を問う。

平成25年度予算編成において、合併から間がない東出雲地域における合併市町村基本計画(まちづくり計画)の施策の実施のための来年度の予算における施策の考えについてお尋ねします。

(A) 松浦市長：東出雲町関連では、まちづくり計画にある地域産業の活性化、住民自主の事業等を計上していく考えです。東出雲町は非常に特徴を持った産業が育っており、地域の特色、魅力を伸ばす方向の予算も考慮に入れたと思っています。

(3) バランスシートの積極的な公表と活用について問う。

松江市におけるバランスシート(貸借対照表など)の公表は、ホームページでされていますが、開かれた行政を一層推進していくためには、市議会を初め広報紙等で広く積極的に周知することが必要だと考えます。

(A) 星野財政部長：平成17年度決算か

ら普通会計のバランスシートなど財務4表を作成し、平成20年度決算からはホームページで公表しています。さらに、予算・決算を解説した冊子「まつえの予算」を作成し、ホームページや市民研修会などで活用しています。

Q2、農業振興について

(1) 農地プランによる集落営農の組織化の促進について、現在の取り組み状況と今後の進め方について考え方を問う。

農業の担い手が減少するなか、担い手の集団化を促す、国新施策、人・農地プランが平成24年度から始まっています。本市でも努力されていますが、なかなかプラン化まで進まない聞いています。この取り組み状況と今後の進め方について聞きます。

(A) 川原産業経済部長：今年度内に20地区の策定を目標として、現在までに全体説明会を10回、個別の地区説明会を10地区行いました。今後、農業組織と連携を図り、地域に積極的に出かけて説明し、推進を図っていきます。

(2) 松江ブランドとして特産品産地ごとの振興支援が必要と思うが、その取り組みを問う。

そして、松江ブランドとしての特産品発



信策についてどのように展開していくのか問う。

市内にはほし柿など特産品があります
が、品目によっては、後継者不足など大きな問題を抱えています。市域が確定し松江ブランドとして、連携した産地支援が必要であると考えますが、その取り組みを伺います。そして、発信策の展開についても併せて伺います。



(A)川原産業経済部長：ボタンは、海外販路の拡大や生産基盤強化に取り組み、西条柿では、生産組織の一本化を契機に、機械整備や大都市圏での販売促進に対する支援を行っています。今後も引き続き、さらなる地域特産品の育成を図っていきたく考えています。

(A)松浦市長：発信策では、秋に東京で特産品フェア・試食会を行い、私もトップセールスをしましたが、継続してやっていくことが大変大事だと思っています。

Q3、松江市ものづくりアクションプランについて

(1)松江産業支援センター(仮称)の設置場所、体制の考え方、東出雲地域へのサポート体制を聞く。

(A)川原産業経済部長：センターの設置場所は、既存施設の活用を前提に市の中心部への設置を検討しています。体制は、

市の産業経済部と一体的な組織として位置づけ、企業にとって役に立つ実効性の高い体制とするよう検討しています。

ひがしいずも産業支援センターは、現体制を縮小しつつも存続をさせ、相談や商工会との連携、個別企業の支援に引き続き対応します。

(2)去る11月に松江市東部一般機械製造業の方向性検討に向けた研究会が行った提言と、松江市ものづくりアクションプランとの整合はどのように考えていますか。

(A)川原産業経済部長：提言は、専門家の派遣、技術者育成や職業訓練に向けたセミナーの開催など、専門的、技術的な支援を行うこととされています。また産業支援センターでは、企業訪問をベースとして、企業情報の把握や情報の提供、専門支援機関へのつなぎ、具体的な企業間のビジネスマッチングや販路拡大などを行うことにより、県の専門支援機関等との役割分担を図りながら、整合をとって進めます。

(3)広域的な展開のために尾道市等に販路拡大オフィスやサテライトオフィスを置く考えはないか問う。

山陽や四国へのつながりや、国内はもとより海外も視野に入れたグローバルな展開の可能性を期待されています。そこで、姉妹都市尾道市等にオフィスを設置することも重要なことだと思います。



(A)川原産業経済部長：現在、松江商工会議所と東出雲商工会が尾道商工会議所との交流事業を進めており、今後具体的な取り組みを進めていかれるものと考えています。さらに、商工団体が主体となり、中海・宍道湖・大山圏域と山陽圏域相互の拠点設置を検討されることが基本であると考えています。

(4)F補助金の東出雲地域への拡大について再度問う。

現在の業績不振から脱却するためには、機械金属加工業の集積をした東出雲地域に核となる新たな企業の立地が必要であり、優遇策として、原子力発電施設等周辺地域企業立地支援給付金、いわゆるF補助金が必要であると考えています。9月議会で、F補助金の東出雲地域への拡大につき質問しましたが、今一度お聞きします。

(A)松浦市長：この補助金は東出雲町との合併協定の大きな部分を占めていることを十分承知をしています。一方で、国の壁は厚く、このままではかなり時間がかかると思っています。そこで、このF補助金が拡大をされるまでの間、東出雲町の地域に限定した何らかの支援策について今後検討していきたいと思っています。

※一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています
※フェイスブックもやっています

活動報告 最近の活動から

F補助金の一般質問が新聞記事になりました

12月13日付けの山陰中央新報21面、島根総合ページのトップ記事に、前日野々内が一般質問した東出雲地域への「F補助金」の代替支援事業が載りました。

事業所を新設か増設した企業への電気料金の給付制度が東出雲地域にできると、業績不振から脱却するための核となる新たな企業の立地への優遇策となります。圏域の産業振興の一助として期待が高まります。なお、この事業は平成25年度からの実施になりそうです。

原発サミットで原発問題を学習しました

11月20日、21日、東京で開催の「第8回全国原子力発電所立地議会サミット」に参加しました。全国で原発1発電所(2基)のみが稼働し、国民の努力と化石燃料で電力をつないでいる現実を踏まえ、代替エネルギーの開発状況、原発ゼロが可能か、再稼働の考え方・安全性の確保、国のエネルギー政策の行方等々、わからない事が多すぎる原発問題について学習し、今後の対応に大いに参考になりました。



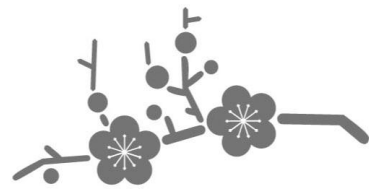
▲原発サミットで学習しました

スペシャルオリンピックスの活動に参加しています

12月23日(日)、松江スティックビルで「スペシャルオリンピックス講演会」がスペシャルオリンピックス日本・島根設立準備委員会の主催で開催されました。講師はスペシャルオリンピックス日本の名誉会長の細川佳代子さん(細川元首相の奥様)です。スペシャルオリンピックスは、知的障がいのある人たちにスポーツを提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。野々内は、スペシャルオリンピックス日本・島根設立準備委員会の活動に加わり、支援しています。



▲講演する細川佳代子さん



2月議会予定

2月22日(金) 本会議・予算特別委員会

27日(水) 一般質問

28日(木) 一般質問

3月1日(金) 一般質問・議案質疑・委員会付託

4日(月) 予算特別委員会(質疑・分科会委託)

5日(火)～6日(水)総務委員会

5日(火)～6日(水)教育民生委員会

6日(水)～8日(金)建設環境委員会

7日(木)～8日(金)経済委員会

13日(水) 予算特別委員会(分科会長報告・採決)

18日(月) 本会議

ホームページをリニューアルしました

野々内のホームページに「私の決意」「私はめざします」を追加掲載しました。また、新しいリーフレットも作りました。ご入用の方は、ののうち誠後援会までご連絡ください。お送りします。



松江市を
変える
「力」
ちから

ののうち誠 後援会です

ののうち誠講演会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。

この度後援会だよりvol.6を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

**後援会にご加入いただき
一緒にまちづくりをしていきましょう。**

後援会事務局
松江市東出雲町出雲郷1670

ALL FOR HIGASHIZUMO

プロフィール

昭和25年11月26日生まれ、62歳。
妻と死別し母と2人暮らし、子ども2人(結婚し独立)
住所/松江市東出雲町出雲郷1670
電話/0852-52-3117(FAX兼用)

【学歴】

昭和44年3月/島根県立松江農林高等学校卒業

【職歴】

平成11年4月1日/東出雲町企画財政課長

平成13年4月1日/東出雲町保健福祉課長

平成17年7月11日/東出雲町教育委員会教育次長

平成21年4月1日/東出雲町総務課長

平成22年4月1日/東出雲町参事

平成23年8月/市議会初当選

【活動歴】

出雲郷公民館主事(11年間)、出雲郷公民館運営委員、

体育協会出雲郷支部事務局、消防団第三分団部長、

出雲郷小学校PTA会長(3年間)、町PTA連絡協議会会長、

松江市農業委員